

海外安全対策情報（2022年1月～3月：コロンビア）

1 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

ボゴタ市、メデジン市、カリ市等の都市部を含め、窃盗・強盗の一般犯罪被害が昼夜を問わず多発している。比較的治安が良いとされる地域でも、飲食店内の置き引き、バイクを利用した強盗・ひったくり、夜間の路上強盗等の発生が見られる。また、SNSを通じて知り合いになり、飲食店や自宅等で飲食をする機会に乗じて、飲食物に睡眠薬を混入させて意識を失わせる睡眠薬強盗被害や、警察官に成りすまして職務質問を装い金品をだまし取る等、様々な手口の犯罪が見られる。

2020年3月以降の新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出制限措置の影響で、一時的に犯罪統計の減少が見られたが、外出制限緩和以降、特にスマートフォンを狙った強盗やひったくりなどをはじめとする犯罪件数が再度増加しており、大きな治安改善は認められない。

被害に遭わないためには、人気のない道路は日中でも注意する、身の回りの物から目を離さない、怪しい人物に狙われていないか注意する等、常に警戒を怠らない心構えが必要である。万が一、強盗やひったくりに遭った場合は、生命を第一に考え、絶対に抵抗せず、盗まれた物を取り返そうとしてはいけない。

（２）邦人犯罪被害事案

- ・ 2月18日深夜、被害者がボゴタ市のセントロで飲酒し帰宅途中、通りがかった男から凶器で脅され、被害者が所持していたスマートフォンや財布（現金、カード等在中）を強取される被害を受けた。被害者は抵抗することなく犯人の要求に応じたため、負傷はなかった。

2 テロ・爆弾事件発生状況・関連報道

ＥＬＮ、ＦＡＲＣ離反兵等の反政府武装組織の活動が活発な地域で、治安当局やインフラ施設に対するテロ事件が発生している。ボゴタ市では2017年6月、ショッピングセンター「アンディーノ」においてフランス人女性を含む3名が死亡する無差別テロ事件が発生、2019年1月にも市内の警察学校内で学生22名が死亡するＥＬＮによる自動車爆弾が発生しているほか、本年3月26日にはボゴタ市南部のシウダー・ボリーバルの交番（ＣＡＩ）の外周に仕掛けられた爆弾が爆発し、付近にいた児童2名が死亡、勤務中の警察官1名を含む25名が負傷、交番付近の家屋等約50戸に物的被害が生じており、今後もテロへの警戒は必要である。

- ・ 2月24日 ＥＬＮが72時間にわたる武装ストライキ宣言を行い、公共インフラの爆破テロや爆発物の設置・違法な検問による道路封鎖、物流トラックへの放火などの違法行為を敢行した。

- ・ 3月5日 シウダー・ボリーバルの警察署前に駐車中であった警察車両の脇に仕掛けられた爆弾が爆発、警察官1名を含む2名が負傷した。
- ・ 3月26日 シウダー・ボリーバルのアルボリサドーラ・アルタ地区の交番（CAI）の外周に仕掛けられた爆弾が爆発、付近にいた児童2名死亡したほか、勤務中の警察官1名を含む住民等35名が負傷、付近の家屋等約50戸に物的被害が生じた。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

ELN等の反政府武装組織や麻薬犯罪組織が、身代金目的の誘拐、恐喝、脅迫を行い、資金源としている。都市部では犯罪組織による偽装タクシーを使用した短時間誘拐の犯行もあることから、流しのタクシー（タクシーアプリ等と呼ぶ無線タクシーではないもの）は利用しない等の注意が必要である。